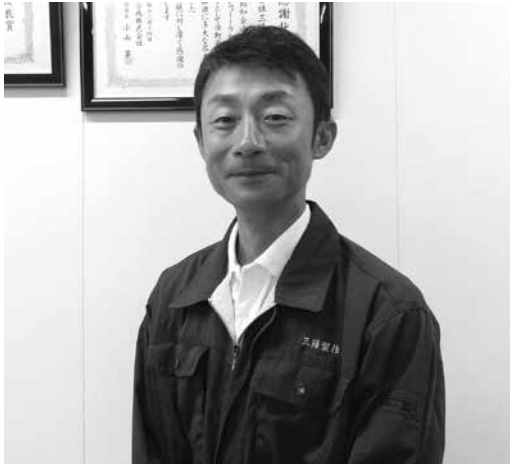


大口町社長さん Vol. 19 リレーインタビュー

大口町で活躍する社長さんをリレー形式でご紹介いただき、住民有志のおおぐち宣伝部が、大口町にある企業の素晴らしさと、社長さんの人柄をご紹介します企画です。



自分を過信せず、人とつながり、協力をしていく

株式会社 三陽製作所

代表取締役 **鈴木清貴さん**

Profile

昭和 56 年生まれ

趣味 ゴルフと野球観戦。中日ドラゴンズファン。小学生の息子の少年野球チームのコーチもしていて、最近息子が初めてホームランを打ったのが嬉しかった。自分のゴルフのスコアもアップし、親子ともども絶好調です。

創業 昭和 34 年（三陽商会）設立 昭和 44 年

所在地 大口町豊田二丁目 107 番地

従業員数 128 名（令和 5 年 6 月末時点）

どんな仕事をしている会社ですか？

金属の切削加工や金型のプレス等、自動車向けの金属加工をしています。主にブレーキやエアバッグ等、人の命を守る「重要保安部品」を製造しています。1 か月に80万個も製造している部品もありますが、その内の1個でも不良品があり、そのまま自動車の部品に使用されてしまうと、人の命にかかわることですので、万に一つも不良品を納品しないよう、『守る未来を、創る』というユーザー目線の想いを大切にしています。



社長ヒストリー & 苦労したこと

創業者である祖父は大口町出身で、若いころは大手自動車メーカーに所属するボクシング選手でした。相当な腕前だったそうです。その後、同じ部署にいた先輩社員が、会社を設立したので、そこで一緒に働いていましたが、昭和34年29歳の時に独立しました。当時は商社でしたが、お客さんの「メーカーになったら？」というアドバイスにより、昭和44年に現在の会社を設立。84歳まで会社を支え、平成26年に孫である自分が32歳の時に、社長として受け継ぎました。

リーマンショック、震災、コロナ禍等が立て続けに起き、海外向けに製造していた部品も現地調達に変更する企業が増え、売上げが減少し、苦しい経営が続きました。そんな状況でも古くからの社員はついてきてくれて、みんなで苦労を共有しながら乗り越えてきました。本当に人に恵まれたと思います。

大切にしている事

人と意見が違うことは素晴らしいことです。お互いの意見を受け入れ、自分を過信せず、人の意見をどう聞いて、どのように融合させるかで、人と繋がり、方向性が見えてくると思います。仕事でもプライベートでも、人ひとりの力は微々たるもので、いかに人と繋がり、協力し、絆を深めていくかが大切だと思っています。

船の素材は金属ですが、一つ一つは海に浮かばなくても、設計図通りに組み立てていけば海に浮くようになります。人も同じで、上手い下手は関係なく、団結すれば大きな力になるはずで。

会社のスター

左から後藤さん、長戸さん、伊藤さん。「こんなのだろうよ」というと、快く何でも簡単に作ってくれます。会社で挑戦しているコマ大戦用のコマや、アルミ製のけん玉を、楽しそうに作ってくれました。

